



帰りを待っているのは

教育研修部 **大塚 幹雄**
OOTSUKA MIKIO

皆さん、こんにちは。昨年の4月から講習会の運営業務等を担当しています大塚です。

この仕事について1年、昨年は全国24の都道府県を飛び回り、延34回の出張に行かせてもらいました。

さて、我が家にはマロン、チャッピーという2匹の犬がいます。2匹ともオスのトイプードルです。マロンとは11年、チャッピーとは7年生活をともにしてきて、今では大切な家族の一員です。

普段はおとなしい犬ですが、私が出張に行く日は、これでもかという程、私に吠え掛かってきます。まるで「僕たちをおいてどこへ行くんだよ」と言わんばかりです。

この鳴き声に後ろ髪をひかれつつ、私は仕事へと旅立って行くのです。

そして、講習会が終わって家へ帰ると、2匹は、私の

足音を聞きつけていつも玄関で私を出迎えてくれます。しっぽをブンブン振って私に体を摺り寄せて、「おかえり、会いたかったよ～」と言ってるようです。

帰りを待っていてくれる人(?)がいると思うと、出張先で寄り道もせず、まっすぐ家に帰ってくるのが私のルーティンとなっています。

(ちなみに、私が出張先には妻と二人の息子もいますが…)



編集後記

今号より、本誌は「JWセンター情報」に誌名を変更することとなりました。読者の皆様には、今後も引き続きご支援をいただければ幸いです。

今号の特集企画では、本年11月に当センター設立30周年を迎えるにあたり、当センターの主要業務である講習会事業の振り返りを有識者の皆様に行っていただいたので、その模様をお伝えいたします。

また、新年度の開始に伴い、今号から冬号までの4回、コラムは当センター監事の佐々木様に、連載講義は上智大学教授の織様にご執筆頂きます。

「行政のうごき」では、秋田県より廃棄物行政の取り組みを紹介いただいております。「産廃クローズアップ」では、毛笠コンクリート(株)に伺い、日本国内で数少ない遮断型最終処分場の運用管理についての取材内容を紹介しております。「ユーザー事例紹介」では、キリンビール(株)より電子マニフェスト導入時のお話をいただきました。

ご多忙の中、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、取材や編集にご協力いただいた皆様、本誌を読んでくださった読者の皆様に心から感謝申し上げます。

(菅野)

■本誌に関する連絡先:総務広報室(e-mail:jigyo@jwnet.or.jp)

〈アンケートへのご協力のお願い〉

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ(以下のURL)に掲載しています。本誌に関するご意見。ご要望を是非、お聞かせください。

URL <http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html>

JWセンター情報(季刊)VOL.18 NO.1 発行日:2018年4月16日発行 発行人:関 荘一郎

発行所:公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階

TEL:03-5275-7111 FAX:03-5275-7112 <http://www.jwnet.or.jp/>

デザイン・印刷:株式会社文洋社